

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科 医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18013	2	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	人間関係論 (Human Relation)				
担当教員名	谷川 卓				
授業の概要及び到達目標					
<p>人間は、生まれたときからさまざまな人と関係をもちながら生きている。よい人間関係を築くことは、よい人生を送ることもつながると言える。この授業では、人間関係を成り立たせるためのコミュニケーションの仕組みと、人間関係を深めたり崩壊させたりする要素などについて学ぶ。</p>					
準備学習等					
<p>毎回の講義時に、次回までに事前に目を通しておくべきプリントの箇所を指定する。その箇所を講義に先立って読んでおくこと。また、事前に検討事項を提示したうえで2～3回グループ・ディスカッションを行う予定であるが、そのさい検討事項について調べたり考えたりしたことを講義に先立って整理しておくことを求める。(こうした予習に取り組むのに、毎回1時間程度の時間を必要とする。) 詳しくは第1回の講義時に説明する。</p> <p>なお最終回の講義時には、講義全般の内容に関する質問を受け付ける時間もとる。講義内容を確認・復習したうえで、質問事項を用意しておいてほしい(質問ができるように、各回の講義に積極的に参加するとともに、復習しておくことが大事である。講義内容の復習には、毎回1時間程度の時間を必要とする。)</p> <p>またこの授業では、講義で扱ったテーマについてどう考えるか、講師から学生に意見を求めることがある。それをもとに活発にディスカッションを行うことも本講義の重要な要素となる。受講学生には、積極的な参加を求める。</p>					
成績評価の方法	<p>講義に対する貢献(40%)：出席・質問・講義への参加姿勢などにより評価。 小テスト/小レポート(60%)：講義内容を理解しているかどうか確認するため、また講義内容に関連したテーマについての考察を書いてもらうため、授業時間を利用して小テストおよび小レポートを実施する。毎回の授業で実施する。</p>				
テキスト	テキストは使用しない。講義プリントを適宜配布する。				
参考図書	<p>藤本忠明・東正訓(編) 「ワークショップ 人間関係の心理学」、ナカニシヤ出版 そのほか参考図書は授業のなかで適宜紹介する。</p>				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の開始前ないし終了後の時間に、非常勤講師室または教室で対応する。もちろん、質問などは授業時間内にしてもらってかまわない。授業内での質問は、授業に貢献するものとして評価する。 ・ 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 ・ 毎回の授業で小テスト/小レポートを書いてもらうが、その記述内容を次回授業に反映させる。
授 業 計 画	
<p>第1回:イントロダクション</p> <p>第2回:非言語コミュニケーション われわれ人間の行うコミュニケーションにおいて非言語的な要素が果たしている役割について学ぶ。</p> <p>第3回:言語コミュニケーション 人間のコミュニケーションにとって言語は決定的に重要な役割を担っている。言語的なやりとりとコミュニケーションの関係性をめぐる論点について学ぶ。</p> <p>第4回:他人との関わり コミュニケーションをとるさい、人間は他人についてさまざまな判断を下している。しかし、そうした判断が常に「正しい」とは限らない。ステレオタイプなどの概念の学習を通じて、他人について判断するさいの傾向や注意点について学ぶ。</p> <p>第5回:人間関係と自己 コミュニケーションをとるさい、人間は自分自身についてもさまざまな判断を下している。しかしわれわれは自分について判断するとき、しばしばある種の誤りに陥りがちである。自分について下す判断の特徴について学ぶ。</p> <p>第6回:人間関係と組織 組織や集団における役割を主要な素材として、社会における人間の位置づけをめぐる論点について検討する。</p> <p>第7回:社会とコミュニケーション われわれのコミュニケーションの社会のなかの位置づけについて、専門職やネットワークに関する論点を考慮に入れつつ、広範な視点から検討する</p> <p>第8回:まとめ</p>	